

第14回 大好き いばらき ふれあいまつり

日時
2015 **4/4(土)**
10:00~16:30
※荒天時は5日(日)に順延

会場
茨城県三の丸庁舎
特設会場 (水戸市三の丸)
■茨城県立図書館(9:00~17:00)
■弘道館とその周辺

ステージイベント
●三の丸小学校吹奏楽部
●水戸工業高校ジャズバンド部
「BLUE BEGINNERS」
●大洗高校マーチングバンド部
「BLUE-HAWKS」

ご当地グルメコーナー
ふれあいひろば 体験コーナー
キッズコーナー バザーコーナー

主催 大好き いばらき 県民会議
企画運営 第14回大好き いばらき
ふれあいまつり実行委員会



- ふれあいウォーキング** 事前参加受付中!
●三の丸周辺をウォーキング。
水戸の史跡や商店街を巡り歩こう!
- ふれあいスタンプラリー**
●イベント会場周辺でスタンプをGet!
ステキなプレゼントを当てよう!
- らくがきバス**
●みんなでバスに、らくがきしちゃおう!
- 水戸ホーリーホック**
●シュートゲームで遊ぼう!

地域とのつながりを深める、はじめての一步。 SAKURA ミーティング

さまざまな分野で活動するいばらきのNPO、
ボランティア、地域活動団体が
さくらの季節に水戸・三の丸に集結。

自分にできること、地域のためにできること
新しい世界をさがしてみませんか。

主催 大好き いばらき 県民会議・茨城県
共催 茨城県水戸生涯学習センター
後援 茨城県立図書館
茨城大学地球変動適応科学研究機関(ICAS)

いばらきNPO・ 地域活動見本市

参加団体(予定)

- 里美の水プロジェクト
- NPO法人 おたがいさま
- NPO法人 WA
- Play Park310
(プレイパークみと)
- 大洗応援隊!
- あつまる、まじわる、つながる
- 水戸市環境保全会議
- NPO法人 取手アートプロジェクトオフィス「ちくちく校歌 カメララボ」
- NPO法人 ワールドワイドドリームス
- 大好き いばらき 県民会議

第1部 時間/11:00~12:30
会場/茨城県立図書館前屋外スペース(水戸市三の丸1-5-38)

ポスターセッション

ワークショップ

- 里美の水プロジェクト+なる「あなただけのお地蔵さまを作ろう」
- NPO法人 取手アートプロジェクトオフィス「ちくちく校歌 カメララボ」
- NPO法人 WA「めだまっちを捜せ!ネイチャーゲーム」

第2部 時間/13:30~15:00
会場/交流サロニーいばらき(水戸市三の丸1-5-38 三の丸庁舎2階)

交流会 テーマ「花咲く夢を語ろう」※先着30名まで要事前申込。

大好き いばらき 県民会議あて電話、メールでお申し込みください。(当日受付可)

県三の丸庁舎駐車場は、イベント当日は利用できません。
●「いばらき身障者等用駐車場利用証」持参の方のみ、利用できます。
●県立図書館駐車場は、図書館利用者のみが利用できます。
ご来場の際は、市内循環バス等、公共交通機関をご利用ください。

ふれあいまつりでは、ゴミ削減のため、使い捨て容器ではなくリユース食器を使用いたします。皆さまにもゴミの持ち帰り、マイバッグ持参等、環境に配慮したまつりに、ご協力をお願いいたします。

詳しくは下記までお問い合わせください。

大好き いばらき 県民会議
〒310-0011 茨城県水戸市三の丸1-5-38 茨城県三の丸庁舎2階
Tel.029-224-8120 Fax.029-233-0030

URL <http://www.daisuki-ibaraki.jp/>
E-mail info@daisuki-ibaraki.jp
ブログ <http://d.hatena.ne.jp/daisukiibaraki>
ツイッター <https://twitter.com/daisukiibaraki>

大好き いばらき



平成26年度 大好き いばらき 県民運動表彰式

大好き いばらき 県民運動

○福祉社会づくり○生活環境づくり○人づくり○茨城の風土づくり○

各地域で行われている青少年育成・福祉・生活環境など、さまざまな分野での活動を、県民や団体、企業、行政が手をつないで
支えあい、やさしさとふれあいのある茨城を創っていく運動、それが「大好き いばらき 県民運動」です。

CONTENTS

大好き いばらき 県民運動表彰式	2.3	花いっぱい運動のつどい	10
大好き いばらき ネットワーカ活動推進大会	4.5	霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦	10
キャンドルナイト&キャンドルナイトリレー	6.7	「いばらき教育の日」推進大会	11
大好き いばらき ふるさと自慢	8	茨城県生活学校連絡会運動大会	11
交流サロニーいばらき「寺子屋サロニー」	9	Information	12

第42回 花と緑の環境美化 コンクール

「花いっぱい運動」で、素晴らしい成果を上げている地域・団体・職場・学校を表彰し、環境美化や集団活動に関する関心・意欲を高め、花いっぱい運動を推進すること、さらに平成31年に本県で開催される国民体育大会に向け、花壇づくりを通じた「おもてなしの心」の醸成を目的に実施しています。今年は792の団体・学校から応募があり、審査の結果、74団体が入賞・表彰されました。

茨城県知事賞

フラワーロードの部



下郷区環境部会(常陸大宮市)

地域の部



上富田 松久保会(鉾田市)

団体・職場の部



土浦市六中地区
コミュニティセンター(土浦市)

学校の部



笠間市立東小学校(笠間市)

学校の部



大子町立大子西中学校
(大子町)

学校の部



常陸太田市立佐竹小学校
(常陸太田市)

学校の部



土浦市立土浦第四中学校
(土浦市)

学校の部



潮来市立延方小学校(潮来市)

平成26年度 大好き いばらき

平成26年12月1日(月)、水戸プラザホテルにおいて



<審査講評>

〔中央審査委員長〕 葉梨 修

今年の審査を通して気づいた、きれいな花壇づくりに重要なポイントは、メインとなる花壇をはっきりさせると花壇全体が引き立つこと、配色や配置を工夫すること、咲き終わった花はこまめに摘むなど、花に合った花壇の管理をすること、という3点です。

花づくりを通して、未来の茨城を担う子どもたちの協力しあう心や勤労奉仕の精神、生命を大切にすることなどを育み、また地域の方々にとっては、花づくりが生きがいにもなり、花壇をとおして会話が始まり、コミュニティ活動の活性化にもつながると思います。花づくりは人づくり、そして地域づくりです。花いっぱい運動を通して、やさしさとふれあいのある茨城をつくり、おもてなしの心の輪がますます広がっていくことを期待します。

《応募数》

フラワーロードの部	34
地域の部	392
団体・職場の部	99
学校の部	267
合計	792

《表彰団体数》

茨城県知事賞	8団体
茨城県議会議長賞	8団体
茨城県教育委員会教育長賞	8団体
茨城新聞社長賞	8団体
茨城県花き園芸協会会長賞	8団体
茨城県造園建設業協会会長賞	8団体
大好き いばらき 県民会議理事長賞	26団体

県民運動表彰式

「大好き いばらき 県民運動表彰式」を開催しました。

大好き いばらき 県民運動表



< 審査講評 >

〔審査委員長〕 茨城大学教育学部教授 川嶋 秀之

今年度は、「ここが大好き、私のふるさと、私の家族」のテーマを反映し、家族の様子や仕事、おじいさんやおばあさんとのやり取り、町の人々との触れあいなどを書いた作品が多く寄せられました。身の回りにある自然や郷土、地域に伝わる伝統行事やお祭りなど「ふるさと」に関するものや、お米・メロン・干し芋など食べ物や農業に関するものも多く寄せられ、茨城の自然の恵みと豊かさ、それに対する感謝の思いが伝わってきました。

その他、震災関係のものは減りましたが、竜巻で被害を受けた作文を読みますと、あらためて自然災害を忘れてはならないと思いました。

最後に、指導に当たられた各学校の先生方に謝意を表します。

《応募数》

小学校低学年の部	1,387
小学校高学年の部	2,944
中学校の部	4,747
高等学校の部	341
合計	9,419

《表彰者数》

茨城県知事賞	4名
茨城県議会議長賞	4名
茨城県教育委員会教育長賞	4名
茨城新聞社長賞	4名
大好き いばらき 県民会議理事長賞	39団体

第25回 大好き いばらき 作文コンクール

平成31年に本県で開催される国民体育大会に向け、未来を担う子どもたちに、茨城の豊かさや暮らしやすさ、伝統文化のすばらしさに加え、昔の人が育んできた家族や地域の絆など茨城の魅力を再認識してもらうため、「ここが大好き、私のふるさと、私の家族」をテーマに作文を募集しました。応募総数は9,419件で、この中から55作品が入賞となり表彰されました。表彰後には知事賞受賞作文の発表があり、小学生から高校生までそれぞれの年代らしい感性で綴られた作品に会場は聞き入り、大きな拍手を持って称えました。

茨城県知事賞



小美玉市立小川小学校
さいとう つかさ
斎藤 司紗さん

「ふるさとで生き続ける『ぼんづな』」

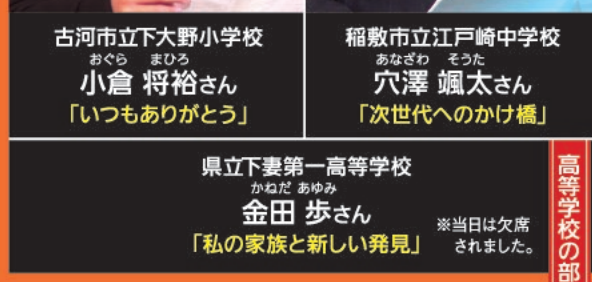


古河市立下大野小学校
おぐら まひろ
小倉 将裕さん

「いつもありがとう」

稲敷市立江戸崎中学校
あなざわ そうた
穴澤 颯太さん

「次世代へのかけ橋」



県立下妻第一高等学校
かねだ あゆみ
金田 歩さん

「私の家族と新しい発見」

※当日は欠席
されました。

高等学校の部

平成
26
年度

大好き いばらき ネットワーカー活動推進大会

県民運動を通した茨城のイメージアップ!!

県内各地で地域活動を実践し、県民運動の普及に努めている「大好きいばらきネットワーカー」(県民運動地域推進員)等がそれぞれの活動推進と、ブロック間交流のため全県大会を開催しました。

全県
大会



ネットワーカーって何?

ネットワーカーとは、大好き いばらき 県民運動の地域推進員のことです。住みよい茨城づくりのための県民運動を各地域で広げ、地域の人たちのネットワークづくりに取り組んでいます。現在、県内全市町村で約1,200名のネットワーカーが活動しています。

ネットワーカーの役割ってどんなこと?

- <発信> 県民運動の趣旨や情報を地域に発信すること
- <普及> 県民運動に参加し、普及に努めること
- <実践> 地域活動を実践し、一層活性化させること
- <調整> 地域活動の調整に努めること



平成26年12月7日(日)結城市民文化センターアクロスにおいて開催された同大会には、県内5ブロックから約300名が集まりました。

開会前のアトラクションでは「結城わらべ合唱団」による合唱の披露があり、表情豊かにいきいきと歌う小学生達の姿に、会場は和やかな雰囲気でも聞き入っていました。

その後、茨城県広報監の三輪貞夫氏より「みんなで茨城をPRしよう!」というテーマで県広報の現状や課題について講演がありました。なかでも、「PRに必要なことは、伝えるだけでなく共感し行動してもらうこと」と「他県にいい茨城を強く印象付ける(イメージアップ)だけでなく、県民の郷土愛の醸成も必要」という話が印象的でした。

最後は、各ブロック会代表による活動報告を行いました。パネルディスカッションや、地域の魅力を再発見するバスツアー、伝統行事を活かした交流会など、各地域で工夫された企画を参考にしようと、参加者の皆さんは熱心に聞き入っており、意見交換や質疑応答なども活発でした。

参加者ひとりひとりがそれぞれの役割を果たし、よりよい茨城づくり、茨城のイメージアップにつなげようと決意を新たにするとともに、参加者の皆さんは熱心に聞き入っており、意見交換や質疑応答なども活発でした。

ネットワーカー 募集

ともに県民運動に取り組んでいただけるネットワーカー(県民運動地域推進員)を募集しています。ご興味のある方は、お住まいの市町村にご連絡ください。

ブロック大会

県北ブロック会

平成26年11月26日[水]
常陸大宮市文化センター

誰もが大好きといえる まちづくり

茨城大学の西田教授を講師に迎え、「みんなが「楽しい」まちづくり—まちの「物語」をつくろう!」をテーマに講演が行われました。講演では、「一人ひとりがアイデアを出し、主役となって、まちをつかっていく過程に物語が生まれる。それが誰もが大好きといえるまちを作っていく。」との話がありました。住み良い茨城づくりを進めるネットワークにとって、大きな学びの機会になりました。



県央ブロック会

平成27年2月21日[土]
那珂市中央公民館

「ふるさと再発見」 ～那珂市の伝統文化の継承と地域おこし～

オープニングアトラクションでは、「瓜連おはやし保存会」の勇壮な太鼓の演奏が会場に響き渡りました。また、那珂市歴史民俗資料館の仲田館長の講演では、頼田城最後の城主小野崎昭通と伊達政宗の関係など、那珂市をはじめ周辺地域の歴史について、参加者全員が興味深く聞き入っていました。



鹿行ブロック会

平成26年9月2日[火]
鹿嶋市内

「ふるさと再発見」 ～鹿嶋の歴史体験交流会～

ネットワークかしまの方々の案内により、鹿嶋市にある様々なふるさとの自慢を見学した他、同ネットワークによる塚原伝の紙芝居や鹿行地域にある、鹿嶋市、神栖市、潮来市の3つのネットワーク協議会による活動報告が行われました。鹿嶋市の魅力の再発見や鹿行地域のネットワークの結束が図れる機会となりました。



県南ブロック会

平成27年2月25日[水]
守谷市中央公民館

～県民運動を通じた茨城のイメージアップ～

もりや市民大学の宮崎学長を講師に迎え、「守谷の土」をテーマに自分たちが住んでいる地域の地形や土壌などの話を聞きました。また、大規模災害時に、防災拠点として活用される守谷サービスエリア(pasar守谷)などを視察し、新たな守谷の資源を発見する機会となりました。



県西ブロック会

平成27年2月14日[土]
常総市生涯学習センター

～つながろう、広げよう、地域の輪～

常総市を拠点に活動する市民を講師として、サンドアート・茶道・写経・紙芝居・長塚節の講和などの体験講座が行われたほか、八千代町ネットワーク等連絡協議会の活動報告が行われ、地域の人との交流を通して、常総市とその周辺のネットワークとの輪が広がる一日になりました。



大好き いばらき週間

茨城県では、平成21年度から、毎年11月7日～13日の期間を「大好き いばらき週間」として設定しています。

これは、本県の歴史や文化をはじめとする各種の地域資源等について理解と認知度を高め、県民の皆さんに、より一層「いばらき」を好きになっていただくとするものです。

大好き いばらき週間中の 県内ネットワークによる県民運動

期間中、地域で県民運動に取り組むネットワークの皆さんが、下記のとおりキャンペーンを実施しました。

水戸市ネットワーク等連絡協議会	風土記の丘ふるさとまつりでの県民運動の普及活動
結城市ネットワーク等連絡協議会	あいさつ・声かけ運動
下妻市ネットワーク等連絡協議会	ポケットパークの清掃と除草、定植作業
大好きおおたネットワーク	常陸秋そばフェスティバル(星山フェア秋まつり)での県民運動の普及活動
大好き かさま ネットワーク	あいさつ・声かけ運動 歴史散策会
ひたちなか市ネットワーク等連絡協議会	あいさつ・声かけ運動
常陸大宮市ネットワーク協議会	シートベルト着用調査
那珂市ネットワーク等連絡協議会	駅構内の除草、清掃作業 あいさつ・声かけ活動
	あいさつ・声かけ運動強調月間街頭キャンペーン
筑西市ネットワーク協議会	あいさつ・声かけ運動 環境美化活動
坂東市ネットワーク等連絡協議会	第12回管生沼エコアップ大作戦
小 美 玉 ネ ッ ト	市内の清掃活動
五霞町ネットワーク等連絡協議会	大好き いばらき 県民運動の普及活動
境町ネットワーク等連絡協議会	あいさつ・声かけ運動
利根町ネットワーク協議会	あいさつ・声かけ運動



下妻市ネットワーク等連絡協議会

鬼怒川大形橋ポケットパーク及び河川敷の清掃活動、花壇の除草作業を実施しました。あいにくの天気だったため、後日に改めて花壇の定植作業を実施しました。



境町ネットワーク等連絡協議会

小学生の登校の見守り、あいさつを習慣付けさせるため、境小学校校門前であいさつ運動を行いました。ネットワークの8名の他にも、更生保護女性会と小学生のあいさつ係りも加わり、活発なあいさつ運動ができました。



常陸大宮市ネットワーク協議会

JR水郡線山方宿駅前において、シートベルト着用の調査を実施いたしました。調査台数168台のうち166台でシートベルトの着用が確認できましたが、残念ながら2台は着用していませんでした。



ひたちなか市ネットワーク等連絡協議会

勝田駅周辺において、あいさつ声かけ運動を実施しました。「おはようございます」の声掛けに対し、高校生たちがこやかに返答してくれたことが大変ほろほしく感じました。

また、11月12日～19日に県庁2階において、知られざる郷土の魅力を紹介した「ふるさと自慢」のパネル展を開催しました。
※ふるさと自慢については、P9に詳しく掲載しています。

大好き いばらき



3.11
大好き いばらき

キャンドルナイトリレー

16



阿見町キャンドルナイト(忘れない3.11)
3月7日
[阿見町・本郷ふれあいセンター]
阿見町ネットワーク協議会

15



キャンドルナイト・筑西2015
2月21日
[筑西市・アルテリオ前広場]
筑西市ネットワーク協議会

14



もりやクリスマスファンタジー2014
12月23日
[守谷市・守谷駅西口広場]
もりやクリスマスファンタジー2014実行委員会

13



常陸大宮駅前イルミネーション点灯式
12月14日
[常陸大宮市・常陸大宮駅前通り]
きらきらタウン☆ひたちおおみや実行委員会

1



万燈会
8月13日
[潮来市・潮音寺]
潮音寺

2



夏休みお楽しみ会
8月23日
[牛久市・ボーイスカウト牛久第2団キャンプ場]
日本ボーイスカウト牛久第2団

3



第7回北茨城市市民夏まつり
8月24日
[北茨城市・磯原駅周辺]
北茨城市民夏まつり実行委員会

4



環境四季時計「夏祭り」キャンドルナイト
8月30日
[ひたちなか市・東石川第2公園]
ひたちなか市の環境を良くする会

キャンドルナイト



東日本大震災の犠牲者への追悼と家族や地域の絆への思いを次の世代へ紡いでいくことを目的として平成26年度も「大好き いばらき キャンドルナイトリレー」と「大好き いばらき キャンドルナイト」を開催しました。

東日本大震災発生から4年目の3月11日(水)、夕刻の茨城県三の丸庁舎は、大好き いばらき キャンドルナイトに参加しようと約350名が集まりました。

ボランティアの方々と共に約5,000本のキャンドルを灯し、東日本大震災の犠牲者に黙祷を捧げました。広場では、キャンドルナイトリレーで思いをつないできた寄せ書きの展示や、キャンドル作りワークショップを行ったほか、企業・団体・個人のキャンドルの持ち寄りスペース、水戸啓明高等学校美術部によるデザインスペースを設置しました。

また、催事では、水戸市立第二中学校吹奏楽部の演奏や、五軒童謡を歌う会の合唱、参加者全員による故郷の合唱が行われ、最後に「私たち一人ひとりが家族や地域の絆の大切さを次の世代につないでいこう」と幡谷理事長が「キャンドルナイト宣言」をしました。



同時開催

17



【キャンドルナイト 東日本大震災復興を願って】
【利根町役場玄関前】
利根町ネットワーク協議会

18



【大好きいばらきキャンドルナイト in 古河】
【古河市ふれあいスポーツセンター】
古河市ネットワーク等連絡協議会

県内18か所で、キャンドルナイトをつなぐ取り組みを行いました。

各会場では、参加者の方から家族や地域の絆に関する寄せ書きを頂き、多くの皆さんの思いを紡ぐことができました。

12



キャンドルナイトin千波湖
12月13日
【水戸市・千波湖】
いばらきキャンドルナイト

11



クリスマスツリー点灯式
12月12日
【日立市・茨城キリスト教学園中学校】
茨城キリスト教学園中学校

10



岡田小学校ふれあいスクール
～プチ・キャンドルナイト～
12月8日
【常総市・岡田小学校】
岡田ふれあいスクール

9



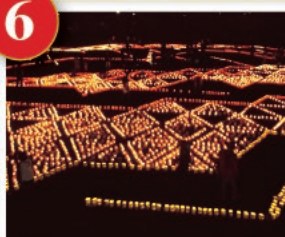
「あれから三年陸前高田の今」
11月23日
【水戸市・茨城県立青少年会館】
一般社団法人ガールスカウト茨城県連盟

5

雨天中止と
なりました。

お月見の会
10月5日
【那珂市・一の関公園】
那珂市商工観光課

6



キャンドルナイト2014しもつまやちよ
10月18日
【下妻市・砂沼広域公園】
キャンドルナイト2014しもつまやちよ実行委員会

7



ハロウィンナイトda植物園
10月25日
【那珂市・茨城県植物園】
茨城県植物園

8



茨城県立歴史館いちょうまつり
11月15日
【水戸市・茨城県立歴史館】
茨城県立歴史館

大好き いばらき ふるさと自慢

ー いばらきの魅力再発見 ー

大好き いばらき 県民会議では、茨城のイメージアップ及び県民の郷土に対する愛着や誇りを高めるため、本県の隠れた魅力を発掘し紹介を行うふるさと自慢事業を展開しています。

ネットワーカー（県民運動地域推進員）が発見した、選りすぐりのふるさと自慢をご紹介します。

詳しい内容や紹介しきれなかったふるさと自慢は、大好き いばらき 県民会議のホームページでもご覧いただけます。

<http://www.daisuki-ibaraki.jp/nature/furusato-jiman.html>

筑波海軍航空隊ここにありき 「筑波海軍航空隊記念館」(笠間市)

筑波海軍航空隊は、飛行操縦基礎教育を任務に昭和9年発足。終戦後跡地は学校、現在は県立こころの医療センターとして利用されています。ほぼ原型のまま残る史跡が、不戦の想いを共有する場になればと思います。



推薦者 大好きかさまネットワーカー連絡協議会

市民協働により誕生したウォーキングコース 「鹿嶋 神の道」(鹿嶋市)

「鹿嶋 神の道」は、鹿島神宮等の歴史ロマンと自然豊かな景観を巡る約15kmの本格的ウォーキングコース。4カ国語の案内板や約100ヶ所の道標設置など、市民協働で整備し2014年5月にオープンしました。



推薦者 ネットワーカーかしま

黒駒不動尊「雨乞い祭」(下妻市)

毎年7月27日に五穀豊穡、家内安全祈願に行われる「雨乞い祭」では、満水にした木製大タライを地域の若者が担ぎ上げ、水をかけながら激しくもみ歩きます。この水には、無病息災のご利益があると伝えられています。



推薦者 下妻市ネットワーカー等連絡協議会

内原地区 「かたくりの里公園 カタクリ群生地」(水戸市)

有賀神社北部の山林にある「かたくりの里公園」は、地域住民が環境を整備、保護するカタクリ群生地です。桜と共に開花する4月には「かたくりまつり」が行われ、花を愛でる人達で賑わいます。



推薦者 水戸市ネットワーカー連絡協議会

甲斐武田氏発祥の地 「武田氏館」(ひたちなか市)

武田信玄を輩出した甲斐武田氏の始祖 源義清父子の住居近くに建設された「武田氏館」は主殿造の母屋、厩、納屋を整備、鎌倉時代の地方豪族の館を再現。武器・武具も展示しています。



推薦者 ひたちなか市ネットワーカー連絡協議会

「利根地固め唄」保存に取り組む 子供達に拍手! (利根町)

「利根地固め歌」は、江戸時代に築堤工事で唄われた作業歌で、平成14年に無形民俗文化財に指定されました。現在は、町立文間小学校の児童が主役となって、継承した伝統芸の披露と保存に取り組んでいます。



推薦者 利根町ネットワーカー協議会

よさこいソーラン関城「飛龍会」(筑西市)

「飛龍会」は3歳の子供から大人まで総勢60名で活動しており、地域や人との関わり・繋がりを大切にしています。子供達は踊りを通して元気と明るさを届けると同時に、ふるさとを愛する心が育っていると感じます。



推薦者 筑西市ネットワーカー協議会

平成
26年度

交流サルーンいばらき
NPO・地域活動者向け
交流・学び合いの場

「寺子屋サルーン」

「寺子屋サルーン」とは、県内のNPO・地域活動実践者向けの気軽に参加できる学び合いの場です。受け身ではない参加型学習を通して、「参加者同士の情報交換・交流」、「それぞれの活動のスキルアップ」、「団体間の連携・協働」を目指していきます。

第4回

10月9日(木)

「成功するイベントのつくり方 ～地域活動の先進を学ぶ～」

メインスピーカー いばらきキャンドルナイト 代表 井坂 勇方さん



井坂さんは、多数のイベント開催経験から、成功するイベントを企画するためには、「カッコよさや見た目、驚きがあるか、安心・安全に行われているか、ほかにはない魅力があるか」などのポイントを抑えてイベントを作るまたは見直すことが重要だと教えてくださいました。

参加者も自身の活動を振り返り、「どのポイントが足りないのか、必要なことは何か」それぞれが考える回となりました。

第5回

11月21日(金)

「地域を元気にするためには ～里美の水プロジェクトを事例に～」

メインスピーカー 里美の水プロジェクト 代表 岡崎 靖さん



「これからの里美についてみんなで考えたい」と里美地域の夢を皆で語ることから、「里美の水プロジェクト」や、「里美の日」、「one-day-cafe里美の休日」など様々なアイデアやイベント、プロジェクトが

誕生した経緯について紹介がありました。岡崎さんは、地域の夢・自分の夢をみんなで語り、共有する場を持つことが、地域を元気にする「初めの一步」と言います。

後半には、参加者自身がそれぞれの夢を語り合いました。普段は見えないその人の深い部分に触れられるテーマに、楽しく充実した時間となりました。

お問い合わせ

茨城県水戸市三の丸1-5-38 茨城県三の丸庁舎2階 交流サルーンいばらき
Tel.029-302-2160 Fax.029-233-0030

URL

<http://www.daisuki-ibaraki.jp/saloon.html>

交流サルーンいばらきの各種サービス内容、NPO等向けの助成金情報などを掲載しています。

今年度はじまった新たな試み「寺子屋サルーン」。

第4回からは、地域活動実践者による事例発表やミニワークショップをととして、参加者自身の日頃の活動に生かせるノウハウやコツなどについて学び合いました。

※第1回～3回については、「大好きいばらき」vol.52で紹介

第6回

12月18日(木)

「振り返りお茶会」



寺子屋サルーンが始まって半年。第6回では、今まで学んだことを振り返りながら、これまでの感想や今後について話し合うお茶会を開催しました。参加者からは「寺子屋は、自分たちで学びたいテーマ

や方法を決められ、必要があれば変えていけるというのがいい。」「ある程度回数を重ねたら学んだことを整理したい。」「将来、寺子屋がどうなっていくのかまだ見えない。ここから何か課題解決などにつなげられるといい。」などの意見がありました。

第7回

1月17日(土)

「活動を生き生きと続けていくために ～認定NPO法人 水戸こどもの劇場の事例から～」

メインスピーカー 認定NPO法人水戸こどもの劇場 横須賀 聡子さん



横須賀さんは、活動継続のコツについて、「人のモチベーションを支えているのは、『だれかの役に立ちたい、認められたい』という気持ち。リーダーが何でも完璧にこなしてしまうスーパーマンだとほかの

メンバーの存在価値が薄まってしまう。リーダーがスーパーマンでなければ、メンバーもつい助けたくなくなるし、助けるハードルも低くなる。自分で何とかしようとするのをやめて頼ること。」と、経験談も交えながらユーモアたっぷりにお話しくださいました。

第7回講座の終了後、27年度寺子屋サルーンの活動について話し合いが行われ、参加の皆さんからは「サルーンに関わった県内NPO・地域活動のマップ作り」、「三の丸ナイトウォーク」などのアイデアが続々と出されました。より良い学びのため、進化を続ける寺子屋サルーンの今後にご期待ください。



facebook

交流サルーンいばらき

<https://www.facebook.com/koryu.saloon.ibaraki>

寺子屋サルーンの開催情報や県内の地域活動レポートなどを発信しています。ぜひご覧ください。



平成26年度 花いっぱい運動定着化促進事業

第16回

花いっぱい 運動のつどい

県内各地で活発に行われている、花と緑でやすらぎと潤いのある地域をつくる活動のさらなる普及・定着化を目指し、大好き いばらき 県民会議と(公財)げんでん ふれあい茨城財団では「花いっぱい運動定着化促進事業」を実施しています。

平成26年11月15日(土)に水戸市植物公園で開催されたつどいでは、花いっぱい運動に継続して取り組み、定着化に努力されている団体・学校に支援認定書を交付しました。続く水戸市植物公園の西川園長の講話では、水戸市内花壇の実例を見ながら土作りや花の配置など作業面のほか、花いっぱい運動を継続・定着させるためのアドバイスもあり、参加された方は熱心にメモをとっていました。平成31年の茨城国民体育大会で、来県者を美しい花で迎え、おもてなしできるよう今後も大好き いばらき 県民会議では花いっぱい運動を推進していきます。



《花壇のアドバイス》

水戸市植物公園
園長 西川 綾子氏

- 「パッと見てキレイ」な花壇を目指しましょう。
- 目立つ部分をハッキリと、各エリアに高低差をつけてメリハリのある花壇を目指しましょう。
- 開花期間の長い種類や、日かげでも良い種類など花の特性を活かしましょう。
- 有機物(堆肥・腐葉土)を入れて根をしっかりと張らせましょう。

★平成26年度花いっぱい運動定着化促進事業認定団体・学校★

団体の部／15団体

水戸市／★池上自治会
那珂市／★いきいき サロン日の出
小美玉市／★小美玉市花野井区
★小美玉市江戸区
茨城町／★前原区女性部会
日立市／★イトヨの里泉が森公園運営委員会
高萩市／★アラヤ地区の環境を守る会
行方市／★八木蒔フラワー誼会
土浦市／★土浦地区交通安全西部母の会
★ひまわりの会
★笠師町子供会育成会(笠師町自治会)
牛久市／★かみや緑の里親元気クラブ
★刈谷地区自治会
美浦村／★大須賀津神明クラブ
★フラワーガーデンオオヤマ

学校の部／15校

水戸市／★市立堀原小学校
ひたちなか市／★市立長堀小学校
常陸大宮市／★市立大宮北小学校
★市立美和小学校
茨城町／★町立石崎小学校
常陸太田市／★市立太田小学校
★市立佐竹小学校
★市立久米小学校
★市立南中学校
高萩市／★市立松岡幼稚園
鹿嶋市／★市立三笠小学校
潮来市／★市立牛堀中学校
★市立延方小学校
河内町／★町立生板小学校
下妻市／★市立総上小学校

第83回

霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦

小雨降る3月1日(日)、霞ヶ浦問題協議会、(公財)茨城県企業公社、土浦市との共催で、霞ヶ浦文化体育館周辺の霞ヶ浦湖岸一斉清掃を行いました。寒さの残る早朝8時の集合でしたが、地域住民をはじめ企業や団体などから500人もの参加がありました。人通りの多い道沿いに目立ったのは、タバコの吸殻や飲料・食品包装ゴミなどでした。一方、普段は人が立ち入らない湖岸では、タイヤ、テレビ、冷蔵庫など、大型ゴミの不法投棄が見つかり、何人かが協力して回収する場面もありました。参加した地域住民の方は「泳げる霞ヶ浦を取り戻すためには、定期的な清掃の継続も大切ですが、個人のモラル向上も重要課題だと思います。」と話していました。私たち一人ひとりが「ごみを捨てない・持ち帰る」意識を高め、霞ヶ浦の水質浄化のためにできる事を一つ一つ行っていくことが必要です。



霞ヶ浦の水質浄化のために私たちができること

- 使用済みの天ぷら油は流しに捨てず、新聞紙などにしみ込ませたり、油凝固剤で固めてごみとして捨てましょう。地域によっては、資源として廃油回収しています。
- 鍋や皿の汚れは、ゴムベラで落したり、紙でふき取れば少量の洗剤でもきれいになります。また、洗剤いらずのアクリルたわしを利用すれば、お財布にも◎。
- お風呂の残り湯を有効に使いましょう。

拾うぞ! 拾うぞ! 拾うぞ!
エイ、エイ、オー!



第15回

— みんなで教育を考える —

「いばらき教育の日」推進大会



11月1日

次代を担う子ども達の教育を県民みんなで考える機会として「いばらき教育の日」推進協議会により、11月1日(土)に県民文化センターで開催された大会では、生命を尊重する環境づくりや、学校・家庭・地域社会が連携していじめの未然防止と解消に努めることなどをまとめた宣言が決議されました。

今年の大会宣言が決議された後、優秀標語や善行、優秀教職員の表彰、いばらき理科教育振興事業表彰があり、賞状を手にした子ども達の誇らしげな表情から「褒め、励ます」ことの重要性を再認識しました。その後、7月に開催され11万5千人が来場した「いばらき総文2014」の高校生実行委員による活動報告。続いて、“平成の駆け込み寺”西居院 廣中邦充住職による記念講演がありました。客席を握手して回りながら「ありがとう」の力や心が響き合って育つ「響育」について話され、最後は会場全員で「一緒にがんばろう!」と拳をあげ、笑顔で終幕しました。



「いばらき総文2014」の活動を報告した高校生実行委員の皆さん



高校生による詩吟と舞の見事なコラボレーション



「子どものために～
地域のために～
あなたのために」

記念
講演

浄土宗・西居院第21代住職
廣中 邦充 氏

塾・会社経営を経て1990年に父の跡を継ぎ住職となる。96年頃より非行少年や引きこもりの子どもたちを無償で預かり、共に生活しながら社会復帰させる活動を続け、これまで800人以上が更生。



平成26年度 茨城県生活学校連絡会 — 運動大会 —

2月20日(金)に茨城県三の丸庁舎において、茨城県生活学校連絡会による運動大会が開催されました。

大会では茨城県消費者教育講師の富塚一男氏による「食の安全安心&食品ロスについて」の講演が行われ、その後生活学校が行った食品ロスに関するアンケート調査の結果報告が行われました。

また、長谷川幸介先生から生活学校の新プランについて、社会と人とのつながりから、生活学校が社会の中でどのような役割を担うべきなのかについて、講演がありました。

今後の茨城県生活学校連絡会の方向性を考える大会となりました。